
2503. 輸出貨物情報訂正

業務コード	業務名
CDD	輸出貨物情報訂正呼出し・削除
CDD01	輸出貨物情報訂正

1. 業務概要

登録した搬入伝票及び輸出貨物情報に誤りがあった場合に、訂正または削除を行う。なお、輸出貨物情報の削除を行う場合は本業務によりあらかじめ搬入伝票との関連付けを取り消しておく必要がある。

(1) 「輸出貨物情報訂正削除 (CDD)」業務の場合

入力されたAWB番号に基づき既に輸出貨物情報DBに登録されているAWB番号、個数、重量、仕向地等の貨物の情報（以下、「輸出貨物情報」という。）を輸出貨物情報DBより削除する。

(2) 「輸出貨物情報訂正呼出し (CDD)」業務の場合

入力された搬入伝票番号に該当する搬入伝票情報を輸出貨物情報DBより抽出し輸出貨物情報を呼び出す業務である。

(3) 「輸出貨物情報訂正登録 (CDD01)」業務の場合

入力された輸出貨物情報に基づき既に輸出貨物情報DBに登録されている輸出貨物情報の訂正を行い、併せて搬入伝票作成要否に搬入伝票作成の旨が入力されている場合は、「搬入伝票」を再作成する業務である。

2. 入力者

航空会社、航空貨物代理店、通関業、混載業

3. 制限事項

(1) 輸出貨物情報の削除の場合は、1業務で入力可能なAWB件数は1件までとする。

(2) 輸出貨物情報の訂正の場合は、以下のチェックを行う。

① 1業務で入力可能なAWB件数は最大50件とする。

② 同一搬入伝票番号で作成できるAWB件数は最大50件とする。

4. 入力条件

(1) 入力者チェック

① システムに登録されている利用者であること。

② 輸出貨物情報の訂正の場合は、「搬入伝票」の作成者と同一の利用者であること。

(2) 入力項目チェック

(A) 単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(B) 項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

(3) 搬入伝票DBチェック

輸出貨物情報の訂正の場合は、以下のチェックを行う。

① 入力された搬入伝票番号が搬入伝票DBに存在すること。

② AWB番号が登録されていること。

③ 入力された搬入予定蔵置場と搬入伝票DBに登録されている搬入予定蔵置場が同一であること。

④ AWB番号に枝番の入力がある場合には、当該枝番が存在すること。

(4) 輸出貨物情報DBチェック

(A) 輸出貨物情報の削除の場合は、入力されたAWB番号及び枝番に対して以下のチェックを行う。

① 輸出貨物情報DBに存在すること。

② 入力された貨物識別と輸出貨物情報DBに登録されている貨物識別が同一であること。

③ 保税蔵置場に一部でも搬入されていないこと。

④ 輸出貨物情報の登録者と入力者が同一であること。

⑤ 搬入伝票番号が払い出されていないこと。

⑥輸出申告等が行われた貨物でないこと。但し、輸出取止め再輸入許可・特例輸出貨物の輸出許可取消の旨が登録されている、または、「許可・承認等情報登録（輸出通関）（P A E）」業務により、以下の登録がされている場合を除く。

- ・輸出等申告撤回
- ・輸出等申告手作業移行
- ・特定輸出許可取消

(B) 輸出貨物情報の訂正の場合は、入力された搬入伝票番号により取得したAWB番号（枝番を含む）に対して以下のチェックを行う。

- ①輸出貨物情報DBに存在すること。
- ②保税蔵置場に一部でも搬入されていないこと。
- ③特定輸出申告、特定委託輸出申告または特定製造貨物輸出申告において輸出許可済となっていないこと。但し、特例輸出貨物の輸出許可取消の旨が登録されている、または、「許可・承認等情報登録（輸出通関）（P A E）」業務により、特定輸出許可取消の登録がされている場合を除く。
- ④入力された貨物識別と輸出貨物情報DBに登録されている貨物識別が同一であること。
- ⑤輸出貨物として輸出申告等が行われている場合は、貨物種別の入力が「N：一般未通関貨物」であること。
- ⑥積戻し申告が行われている場合は、貨物種別の入力が「R：積戻し未通関」であること。

5. 処理内容

(1) CDD業務（削除）の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 輸出貨物情報削除処理

- ①入力されたAWB番号に枝番が付与されていない場合は、該当する輸出貨物情報を輸出貨物情報DBから削除する。
- ②入力されたAWB番号に枝番が付与されている場合は、その枝番の輸出貨物情報のみを削除する。
- ③枝番の輸出貨物情報を削除後、他に有効な情報が存在しない場合は、入力されたAWB番号に該当する輸出貨物情報を輸出貨物情報DBから削除する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(2) CDD業務（呼出し）の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 搬入伝票情報抽出処理

入力された搬入伝票番号に対する搬入伝票情報を搬入伝票DBから抽出する。

(C) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(D) 注意喚起メッセージ出力処理

- ①総個数、総重量、仕向地及び積込港について、「AWB情報登録（輸出）（ABS）」業務により輸出貨物情報DBに登録されたAWB情報と輸出貨物情報が同一でない場合、または、AWB情報が未登録の場合は、その旨を注意喚起メッセージとして出力する。
- ②登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

(3) CDD01業務の場合

(A) 入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「00000-00000-00000」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「00000-00000-00000」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

(B) 輸出貨物情報DB処理

処理識別に更新処理の旨が入力されている輸出貨物情報について輸出貨物情報DBを更新する。

(C) 搬入伝票DB処理

搬入伝票作成要否に搬入伝票作成の旨が入力されている場合に、次の処理を行う。

- ①処理識別に搬入伝票作成の旨が入力されている輸出貨物情報について搬入伝票DBを更新する。
- ②処理識別に搬入伝票作成の処理対象外の旨が入力されている輸出貨物情報について搬入伝票DBより削除する。

(D) 搬入伝票再作成処理

搬入伝票作成要否に搬入伝票再作成の旨が入力されている場合に、「搬入伝票」を作成し出力する。

(E) 出力情報出力処理

後述の出力情報出力処理を行う。出力項目については「出力項目表」を参照。

(F) 注意喚起メッセージ出力処理

登録を行うには再送信が必要である旨を注意喚起メッセージとして出力する。

6. 出力情報

(1) CDD業務削除の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者

(2) CDD業務呼出しの場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物情報訂正呼出し結果情報	なし	入力者

(3) CDD01業務の場合

情報名	出力条件	出力先
処理結果通知	なし	入力者
輸出貨物情報訂正結果情報	なし	入力者
搬入伝票情報	搬入伝票作成要否に「Y」（搬入伝票再作成要）が入力された場合	入力者